

かわ ほん  
川の本

No.15 '83河川愛護月間



監修 建設省河川局



財団法人 河川環境管理財団

# “川さん、こんにちは。また遊びにきたよ……”

水と緑の、ひろびろとした川のほとりは、今日も一日中、  
みんなの楽しそうな笑顔と元気な声にあふれています。

かんきょうごかん  
環境護岸

ここは、災害のときには  
きんきゅうそうろ  
緊急輸送路として使われる





しゅんせつ船

自然地

野草広場

せせらぎ広場とじゃぶじゃぶ池

ほら向う岸で、今夜の  
ぼん踊り大会の準備  
をしているわよ

川は昼も夜も休みなく  
私たちの大切な水を  
はこんでくれる

おや  
ホタルも  
いるぞ

ほっきょくせい  
北極星

ほくとしちせい  
北斗七星

ドントコ

どうろう流し

あそこに見えるヒシヤクの形をした七ツ星が  
北斗七星。そして☆印をつけた2つの星をむ  
すんだ約5倍さきに、北極星がある。

北斗七星は、北極星のまわりを、きまった  
周期でまわっている。だから、  
ヒシヤクの向きは、時間や季節によって  
ちがってくる。

7月・8月は、  
河川愛護月間です。

みんなの川を  
みんなで大切に  
しましょう！



夜の川風は、  
涼しくて気持が  
いいね。



のうりしげせん  
納涼船

どうしてバケツを  
持ってきたの？

自分で遊んだ  
花火のあとしまつは、  
ちゃんと自分で  
しなくては……

# 雨水を土にしみこませて

都市を流れる川のはんらんを防ぐ……



透水性舗装の歩道は、水たまりがでにくいので、歩きよい。

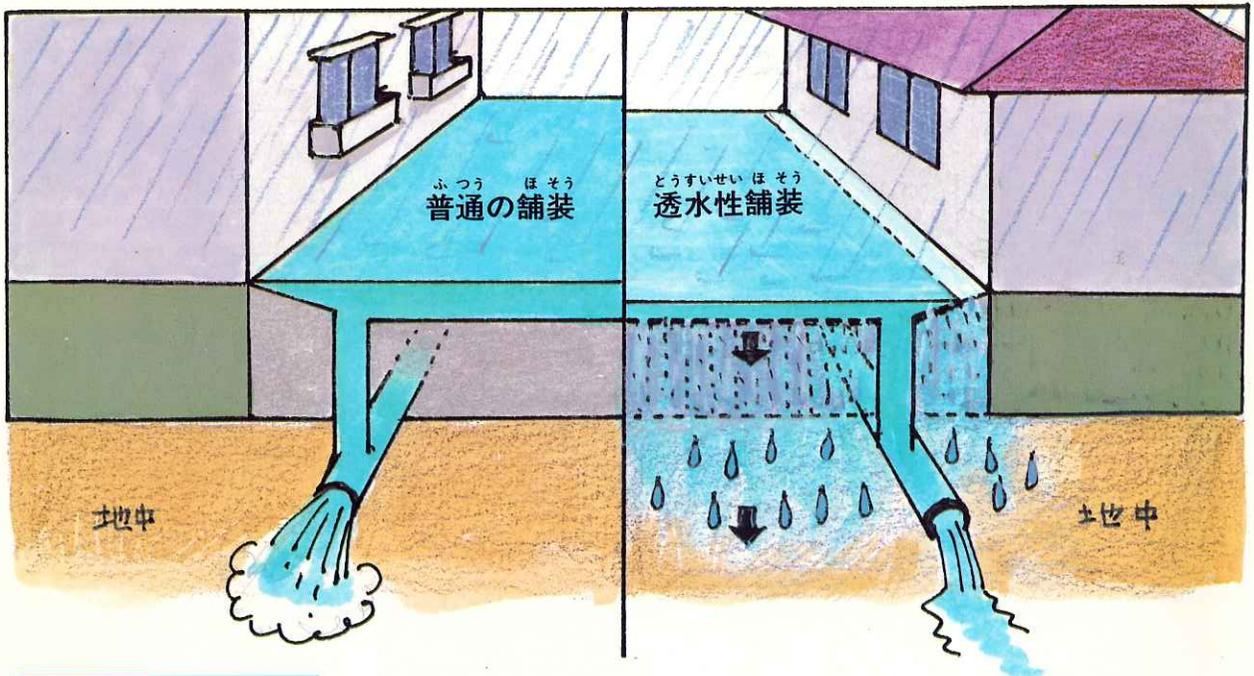
ご存知のように、都市の中心部では、家がびっしりと立ち並んで空き地はほとんどなく、道路もまた大部分が舗装されています。ですから雨が降っても、水が地中にしみこんでいきません。大雨に見舞われると、水は下水道から川へと流れこみ、あっという間に川をあふれさせてしまったり、下水道の受けいれ量を超えてしまった地域一帯を水びたしにして

しまったりします。

そして、都市部でおきやすいこうした水害にそなえていくためには、川の改修工事をしたり、下水道の整備をすすめていくほか雨水を土にしみこませたり、しばらく水をためておいて少しずつ川へ流すようなくふうが必要です。それではここで、その一例をご紹介します。

## ★透水性舗装

舗装の目をあらくして、雨水がしみこみやすくした舗装です。



## ★浸透（しんとう）トレチ

2つの雨水マス（あま）の間を穴のあいたパイプ（パイプ）でつなぎ、水を地中（ちちゆう）にしみこませる。





### ★雨水の貯留浸透

校庭や小公園などを、大雨の時に水をためられるよう、少し低くほりさげておく。もちろんこうした施設は、浸透マスとしての役割もはたす。



いつもは運動場や遊び場として利用



LOUISIANA  
WORLD  
EXPOSITION  
MAY.12-NOV.11.1984

# 国際河川博覧会

1984年5月12日—11月11日  
(アメリカ)ニューオーリンズ市



河川に対する理解を深め、水資源についての認識を高めながら、世界のひとびととコミュニケーションをはかっていこうという「国際河川博」が、来年の5月から6カ月間、ミシシッピ川河畔の会場で開催されます。

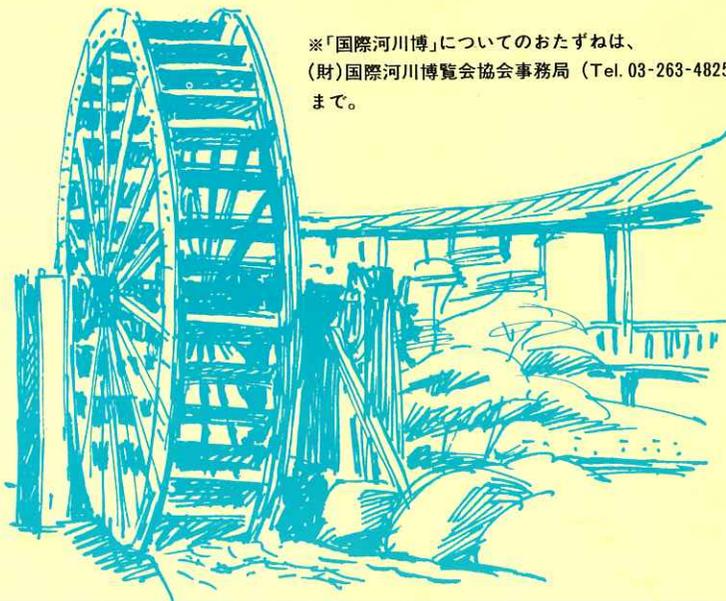
そして日本も、川と日本文化との深いつながりや、わが国のすぐれた河川技術の紹介など、広く世界のひとびとに日本を知ってもらい、日本人の心にふれてもらうためのパビリオンを出展して「河川博」に参加します。この日本館では、さまざまな展示や技術コーナーなどと並んで、日本庭園や、催しとふれあいの広場づくりなど、来館者に楽しさと親しみを感じてもらえるようなプランを盛りだくさんに取りいれようと、目下着々と準備がすすめられています。

## 河川環境管理財団のしごと

私たちは、次のようなしごとを通して、みなさんに愛される川づくりのお手伝いをしています。

- ①よりよい河川環境を生み出すための計画づくり
- ②みんなで安全に遊べる楽しい川づくり
- ③川の美化をすすめ、また河川愛護の知識をひろめる
- ④河川環境のこれからを考えるための調査や研究

※「国際河川博」についてのおたずねは、  
(財)国際河川博覧会協会事務局 (Tel. 03-263-4825) まで。





ムダに流すな

ご家庭へとどけられる水が、どれほど  
たいへんなみちのりをたどったすえ送  
られてくるかということを考えたら、  
とてもムダに流すことはできません。

——8月1日は「水の日」です。



財団法人 河川環境管理財団

(〒160) 東京都新宿区新宿5丁目17番5号 第5荒井ビル  
TEL (03) 200-5677(代表)